

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

次期 SIP 課題候補「AI・データの安全安心な利活用のための基盤技術・ルールの整備」

検討タスクフォース (第1回) 議事要旨

1. 日 時 令和4年6月24日(金) 14:00-15:00

2. 場 所 オンライン会議

3. 出席者

<座長／PD候補>

宮本 恭幸 東京工業大学工学院 電気電子系 教授

<サブPD候補>

平田 真一 NTT 社会情報研究所 所長

<有識者>

佐久間 淳 筑波大学 システム情報系 教授

<関係省庁>

佐伯 宜昭 内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター 基本戦略第一グループ 内閣参事官

根本 朋生 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官

植木 健司 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官

小川 裕之 総務省 国際戦略局 研究推進室長

工藤 雄之 文部科学省 研究振興局 参事官 (情報担当)

高田 和幸 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 産業技術プロジェクト推進室 室長

橘 均憲 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 情報政策企画調整官

小川 宏高 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 ソフトウェア・情報サービス戦略室 企画官

佐藤 秀紀 経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 企画官

神田 浩輝 経済産業省 商務・サービスグループ 物流企画室 室長補佐

松本 潤朗 国土交通省 住宅局 住宅生産課 住宅ストック活用・リフォーム推進官

<研究推進法人>

北原 健伸 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 主査

4. 議題

・ F S 実施方針書 ver1.0 について

5. 配布資料

- 資料 1 : FS 実施方針書 ver1.0 (案)
- 参考資料 1-1 : 次期戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の検討状況について (抜粋)
- 参考資料 1-2 : RFI の公募と結果について
- 参考資料 2 : 検討タスクフォース構成
- 参考資料 3 : 次期 SIP の各課題候補に係る検討タスクフォース (検討 TF) の設置について

6. 議事要旨

【SIP の検討状況について】

参考資料 1-1、1-2 について、内閣府から次期 SIP の検討状況等、背景情報が説明された。

【検討タスクフォースの構成について】

参考資料 2 について、内閣府から 2022 年 6 月 24 日時点のタスクフォース構成等が説明された。

【FS 実施方針書 ver1.0 について】

宮本座長から資料 1 について説明があり、スケジュールに関しては他の課題候補と記述を合わせた上で、本タスクフォース決定とすることとなった。出席者からの主な発言は下記の通り。

- ・(平田) : AI の防護については基礎研究段階であるため、どこまで研究が進んでいるかを FS でしっかりとヒアリングし、SIP として何に取り組むか決めていきたい。
- ・(佐久間) : 秘密計算や AI の防護については、具体的な特定の問題解決を目的とするという考え方もあるが、目的を問わない汎用的な技術体系という理解もできるのではないかな。
- ・(宮本) : ソフトウェア領域については、どのように実用化するかは難しい課題ではあるものの、防御とか、秘密計算できますというコンセプトの確認まではやっていただきたい。そのうえで実用化・産業化にむけての絵を描いてほしい。ハードウェア領域に関しては、実用化に注力したい。
- ・(平田) : AI の防護に関しては基礎的研究段階であるので、特定の問題解決を目的とせずに進めることになるのではないかな。また、今まさに顕著に攻撃が行われているという状況ではないため、長い目線で見えていく必要がある。一方で秘密計算など、データを安全に使っていくことに関しては、目的を特定し、実用化に向けて進めなければならない領域である。
- ・(根本) : 研究開発計画全体としては、社会実装に結びつく計画であることが求められる。

以上